

## 第 5 期西東京市地域福祉計画策定に係る諮問審議経過

## 1 諮問事項

第 5 期西東京市地域福祉計画を策定するにあたっての基本的な考え方について

## 2 審議経過

## (1) 会議の開催状況

- ・第 1 回 令和 4 年 1 月 6 日 諮問／諮問事項の審議
- ・第 2 回 令和 4 年 1 月 26 日 諮問事項の審議
- ・第 3 回 令和 4 年 2 月 25 日 諮問事項の審議／答申案の検討
- ・答申式 令和 4 年 3 月 11 日

## (2) 審議の中での主な意見

## 【第 1 回】

- ・重層的支援体制整備事業の内容、各事業の連携等、市民に分かりやすい仕掛けを作ることが非常に大切。
- ・地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター相互の連携の整理及び市民への分かりやすい周知が必要。

## 【第 2 回】

- ・孤立を防ぐための学校や民間等も含めた地域コミュニティの構築は早急に必要。
- ・コロナ禍の中で密を避けるため、ワンストップ化など効率的かつ効果的な行政サービスの実現のためにもデジタル化の流れを一層推進していくことが重要。デジタル社会形成整備法の施行を踏まえ、十二分な活用を図って欲しい。

## 【第 3 回】

## (答申書(案) (1) 基本的な考え方)

福祉ニーズの多様化・複雑化に対応する必要があるが、少子高齢化及び人口減少が進むことにより、地域の中において市民の担い手が不足し、さらに地域の地縁、血縁のつながりが弱まっている現状に対して、人と人、人と地域社会のつながり支え合いを新たに構築するという整理で間違いないか。

## (答申書(案) (2) 基本的視点)

- ① 検証方法については、計画の中で具体化することで間違いないか。
- ② 既存の組織の強化、充実で対応可能ではないか。
- ④ プライバシー情報に十分配慮する必要がある。